



2026年2月16日

各 位

会社名 東洋炭素株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長兼CEO 近藤 尚孝
(コード番号: 5310 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画本部副本部長 高多 学
(TEL. 050-3097-4950)

中期経営計画（2026～2030年）の策定に関するお知らせ

当社は、2026年2月16日開催の取締役会において、2026年12月期から2030年12月期までの5ヶ年を対象とする中期経営計画について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（2026～2030年）策定の背景

当社は、最新の市場動向および需要予測に基づく5ヶ年の事業計画を策定し、2026～2030年の中期経営計画（以下、「本計画」）として公表いたします。なお、当企業グループでは、急速に変化する経営環境に的確に対応するため、事業計画の見直しを毎年実施しており、中期経営計画の策定にあたってはローリング方式を採用しております。

本計画におきましては、SiC半導体用途の需要を慎重に見積もったことに加え、事業体质強化のため小型カーボンブラシ事業において2025年に実施した事業整理の影響等を織り込んでおります。一方で、シリコン半導体用途における拡販進展や、次世代原子力用途（高温ガス炉）等成長市場への展開強化を図ることで、中長期的な成長を目指しております。

また、原子力や再生可能エネルギー等のエネルギー分野は、本計画における重要市場であるとともに、環境分野に関する当企業グループのマテリアリティ（重要課題）にも深く関連する領域であり、エネルギー分野における事業展開の進捗は、当企業グループにおけるサステナビリティの取り組みの深化にも直結します。他方で、経営人材育成に向けた人材マネジメントをはじめ、社会やガバナンス関連の施策を実施することで、より強固な事業基盤を構築する等、多面的なサステナビリティ施策を実行してまいります。

当企業グループは、2030年の経営Vision『「どこにもないものを、あるに」地球に優しい製品と技術で世界No.1』のもと、市場環境の変化を的確に捉えた戦略展開と、「どこにもないもの」を追求した研究開発により革新的なソリューションを提供することで、付加価値を創造し、事業成長ならびに企業価値向上を実現してまいります。

2. 中期経営計画（2026～2030年）の概要

（1）経営目標

	2030年12月期 (目標)
売上高	740 億円
営業利益	180 億円
営業利益率	24.0%
R O E	10%

※前提為替レート：145 円/US\$、176 円/€、20.0 円/人民元

（2）製品・用途別売上高目標

単位：億円	2025年12月期	2030年12月期 (目標)	年平均成長率
特殊黒鉛製品	203	396	14.3%
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	42	49	3.3%
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	43	43	—
複合材その他製品	153	232	8.7%
商品	19	18	▲1.7%
合計	461	740	9.9%

（3）設備投資

総額 375 億円（2026年12月期～2030年12月期）

半導体や次世代原子力用途等、高付加価値分野の生産能力増強を中心に、注力用途の需要を確実に捕捉するための設備投資・能力増強を厳選して実行する計画です。

（注）上記の計画は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上